令和6年度学校評価アンケート分析結果

(1) 学校評価の観点

「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。

(2) アンケート調査の実施時期・対象人数 ()内は、昨年度の数値。

- ・ 12月 生徒 837名 (847名)
- ・ 12月 保護者 637名 (572名)
- ・ 12月 教職員 74名 (60名)
- ・ 12月 地域 26名 (23名)

生徒・保護者・教職員は、Microsoft Forms を活用しスマートフォン等で回答した。

地域については、昨年度同様近隣町会役員に依頼し、配布・回収した。(配布数は50)

(3) 評価結果の概要

【生徒・保護者・教職員評価】 ()内は昨年度の数値

① 学校生活への満足度について

生徒89%(89%)、保護者92%(93%)、教員93%(96%)が肯定的な回答であった。

生徒、保護者及び教員による満足度も高水準で推移しており、今後も生徒及び保護者のニーズを捉えた教育を実施していく。

② 授業内容は進学に向け十分か

生徒94%(92%)、教員96%(95%)が肯定的な回答であった。生徒の満足度が2ポイント増加した。今後も生徒の満足度の高い授業を実施していく。

③ 授業は理解できるように工夫されているか

生徒91%(93%)、保護者66%(69%)、教員97%(98%)が肯定的な回答であった。

保護者は判断できないとの回答が23%から11%に減少した。今後も継続して授業公開等で保護者の授業参観の機会を増やしていく。

④ 講習・補習・補講の実施について

生徒91%(93%)、保護者84%(81%)、教員93%(95%)が肯定的な回答であった。

いずれの満足度も高水準で推移しており、今後も生徒及び保護者の進路希望等を踏まえた講習等を実施していく。

⑤ 家庭学習の指導について

生徒93%(90%)、保護者79%(76%)、教員96%(97%)が肯定的な回答であった。

学年+1時間の家庭学習を推奨し、学習習慣の定着を図る指導を徹底していく。

⑥ 自主学习室の活用について

生徒93%(91%)、保護者87%(86%)、教員96%(100%)が肯定的な回答であった。生徒の満足度が2ポイント、保護者の満足度が1ポイント増加した。引き続き、平日及び土曜授業実施日に自主学习室を開室していく。

⑦ 体育祭の充実度について

生徒88%(86%)、保護者76%(77%)、教員92%(95%)が肯定的な回答であった。

実行委員会を中心として、生徒が主体的となり体育祭を企画・運営したことにより、生徒の満足度が2ポイント増加した。

⑧ 文化祭の充実度について

生徒89%(90%)、保護者83%(84%)、教員92%(95%)が肯定的な回答であった。

実行委員会を中心として、生徒が主体的となり文化祭を企画・運営したことにより、いずれの満足度も高水準で推移している。

- ⑨ 部活動は学校生活を充実させるものになっているか
生徒 91% (88%)、保護者 80% (74%)、教員 94% (97%) が肯定的な回答であった。
生徒、保護者及び教員による満足度も高水準で推移しており、今後も生徒及び保護者のニーズを捉えた教育を実施していく。
- ⑩ 部活動と学習の両立について
生徒 77% (78%)、保護者 68% (67%)、教員 87% (90%) が肯定的な回答であった。
生徒の満足度が1ポイント減少するとともに、保護者の満足度が7割を下回っている。引き続き「文武両道を実践する」を目指す学校として、勉強と部活動との両立を向上させていく必要がある。
- ⑪ 清掃・美化活動について
生徒 87% (85%)、保護者 84% (86%)、教員 80% (89%) が肯定的な回答であった。
生徒が教室や階段等を清掃するよう指導を強化するとともに、足立区ごみゼロ運動への参加や、学校見学会等前の「美化ボランティア」による落ち葉掃きなど校内外の美化活動への参加の推進を図る。
- ⑫ 服装・挨拶・遅刻などの生徒指導について
生徒 95% (90%)、保護者 87% (80%)、教員 86% (87%) が肯定的な回答であった。
生徒満足度が5ポイント、保護者の満足度が7ポイント増加した。引き続き規範意識醸成に向けた取組を推進していく。
- ⑬ 学校の施設・設備について
生徒 92% (94%)、保護者 91% (92%)、教員 87% (90%) が肯定的な回答であった。
- ⑭ 生徒の安全に配慮しているか
生徒 96% (97%)、保護者 91% (86%)、教員 98% (95%) が肯定的な回答であった。
学校安全全体計画を踏まえ、今後も生活安全・交通安全・災害安全を重点に、今後も「安心・安全」な学校づくりに努めていく。
- ⑮ 自転車の安全指導について
生徒 94% (96%)、保護者 92% (78%)、教員 98% (93%) が肯定的な回答であった。本校の8割以上の生徒は、自転車通学であるため、自転車乗車時の安全指導について継続して指導していく。
- ⑯ 本や新聞を読む指導について
生徒 41% (42%)、保護者 36% (36%)、教員 57% (57%) が肯定的な回答であった。
生徒の満足度が1ポイント減少しており、満足度が50パーセントに達していない。図書館の利用促進や新聞6紙の有効的な活用方法について、検討していく必要がある。
- ⑰ いじめ・体罰防止の取組みについて
生徒 90% (90%)、保護者 61% (60%)、教員 100% (95%) が肯定的な回答であった。保護者の33%は判断できないと回答している。引き続き、見逃しがちな軽微ないじめの積極的な認知や、学校いじめ対策委員会を核とした組織的対応を推進していく。
- ⑱ 学校に充実を期待する項目について
10%を超える項目は、生徒は①学校行事32% (32%)・②学習指導22% (26%)・③設備充実16% (8%)、保護者は①学習指導45% (37%)・②進路指導32% (40%)・③学校行事10% (10%)、教員は①学習指導47% (48%)・②進路指導20% (32%)・③生活指導9% (15%)と回答した。3者とも学習指導、進路指導の充実に期待されていることを踏まえ、進学指導や進路指導の強化に向け取り組みを強化していく。

【地域学校評価】 () 内は昨年度の数値

- ① 「江北生に親しみを感じているか」という質問に対して、46% (52%) が肯定的な回答であった。
- ② 「地域に対して、広報を含め様々な情報を提供しているか」という質問に対して、34% (30%) が肯定的な回答であったが、46%が判断できないと回答しており、地域への積極的な情報に取り組む必要がある。
- ③ 「学校開放や生涯学習の場の提供に積極的か」という質問に対して、61% (22%) が肯定的な回答であったが、昨年度と比較し、肯定的な回答が39ポイント増加した。引き続き、学校開放や生涯学習の場の提供について、検討していく。
- ④ 「日常の教育活動に地域の方の意見を取り入れているか」という質問に対して、35% (22%) が肯定的な回答であったが、昨年度と比較し、肯定的な回答が13ポイント増加した。
- ⑤ 「地域を代表する進学校であると思うか」という質問に対して、81% (78%) が肯定的と回答している。
- ⑥ 「体育祭、文化祭などの学校行事が盛んであるか」という質問に対して、69% (48%) が肯定的と回答している。
- ⑦ 「部活動が盛んであるか」という質問に対して、54% (44%) が肯定的と答えている。否定的な回答は0% (0%) だった。
- ⑧ 「学校周辺の環境整備に努めているか」という質問に対して、31% (43%) が肯定的な回答であったが、昨年度と比較し、肯定的な回答が12ポイント減少しており、地域清掃やボランティア活動を通して地域との連携を深めていく必要がある。
- ⑨ 「地域の活動に協力しているか」という質問に対して、53% (48%) が肯定的な回答であったが、昨年度と比較し、肯定的な回答が5ポイント増加している。
- ⑩ 「社会のルールやマナーを守っているか」という質問に対して、61% (39%) が肯定的と回答しているが、昨年度と比較し、肯定的な回答が22ポイント増加している。引き続き、自転車乗車時におけるヘルメット着用・マナー等の指導を強化していく必要がある。
- ⑪ 「生徒の服装や身だしなみは整っているか」という質問に対して、85% (61%) が肯定的と回答しており、昨年度と比較し、肯定的な回答が24ポイント増加している。引き続き、生活指導を強化していく必要がある。
- ⑫ 「地域の方に挨拶をするか」という質問に対して、20% (30%) が肯定的と回答しているため、学校外での挨拶についても指導を強化していく必要がある。
- ⑬ 「いじめ・体罰防止に努めているか」という質問に対して、50% (87%) が判断できないと回答しているため、学校の取り組みの発信について検討していく必要がある。
- ⑭ 「学校改革を進める中、最も期待する項目は」という質問に対して10%を超える項目は、①生活指導34% (9%) ②学習指導19% (31%)・進路指導19% (4%) ③地域連携11% (30%) であった。

(4) 評価結果の主な分析と考察及び課題

- ① 今年度は生徒の学校生活や学習に関する項目において肯定的な回答が増加した。今後も、保護者や生徒、地域の期待やニーズを的確にとらえ、教育活動の目標として中長期的に掲げ、組織的に取り組んでいく。
- ② Microsoft Forms を活用してアンケートを実施した。アンケートの集計に係る時間が短縮するとともに、保護者及び教職員の回収率も向上させることができた。
- ③ 地域の方に対して学校の取組等を積極的に発信していくことが課題である。また、回答母数が少ないため、結果に影響を受けやすい。回答者数を安定させるとともに、「ホームページ」や「江北だより」等を活用した情報発信のあり方について更なる検討が必要である。